



K 中通信

学校だより 2号
平成31年 4月19日
横浜市立軽井沢中学校

学校ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/jhs/karuizawa/>

【学校教育目標】 『主体的に考え行動し、未来を切り拓く生徒の育成をめざします』

- 様々な関わりを通し、よりよく解決する力を育てます（知・徳・公）
- 持続可能な社会の実現を目指し、しなやかに生きる力を育てます（体・開）



泣きなさい 笑いなさい

いつの日か いつの日か 花を咲かそうよ

「花～すべての人の心に花を～」作詞 作曲 喜納昌吉

校長 星野 久美子

4月も終盤となり、新年度を迎えて慌ただしかった学校生活も、次第にペースができてきたように思います。迎える5月には校外学習を実施しますので、どの学年もその準備に余念がありません。中でも校外学習の集大成である沖縄修学旅行を実施する3年生は、昨年度クラスごとに「沖縄修学旅行ガイドブック」を作成しました。班ごとに『伝統』『食文化』『自然』のグループテーマを決定し、その中で自分が興味・関心をもったことがらを個人テーマとして選び、本を読んだりインターネットを使うなど様々な方法で調べました。調べた結果をA4シート1枚にまとめ、全員分のシートをクラスで編集したものが、「沖縄旅行ガイドブック」です。

個人テーマをいくつか挙げてみますと、『伝統』では「方言」「キジムナー」「シーサー」「三線」「紅型」「音楽」、『食文化』では「サーターアンダギー」「重箱料理」「ソーキそば」「海ぶどう」「さとうきび」、『自然』では「ジンベイザメ」「イリオモテヤマネコ」「ジュゴン」「ハブ」「サンゴ礁」などがありました。それぞれのシートには調べて分かった知識だけでなく、「見どころ・キャッチコピー」を書く欄や自分なりに考えた予想が書かれています。

個人テーマに「方言」を選んだ人は、「ウチナーグチ “って何？”というキャッチフレーズを作り、沖縄の言葉「チム」（肝、心、情などの意味をもつ）を紹介しています。そして、相手が災難に遭ったりしたときにかける「チムグリサン」という言葉を、「自分もあなたの痛みが分かります」という意味で、相手に心を寄せて言う言葉だと解釈しました。また、同じように相手を思いやる優しい言葉が沖縄の方言の中にはたくさんあったので、沖縄の人たちは優しくとても明るい人だろうと予想しています。

約1ヶ月後、「感じるままに ～海と歴史を心に刻む～」のスローガンのもと沖縄修学旅行が実施されます。ガイドブック作成で沖縄についての知識を蓄えることができました。今度は一人一人が沖縄の地で自分が立てた予想を検証することを楽しみにしています。

文頭「花～すべての人の心に花を～」は日本の歌百選に選ばれ、多くのアーティストにカバーされた曲です。原曲はゆったりとしたテンポで、沖縄風のメロディーとともに三線の音色が沖縄の自然や風景を思い起こします。この曲の印象的なフレーズは、東京五輪閉会式の実況中継から生まれました。各国の選手が入り乱れ、肩を組んだり、ダンスをしながら行進を行う様子や、国や人種を超えてお互いに健闘を称え祝福しあいながら行進をする選手の涙や笑いを、「泣いています・・・笑っています」とアナウンサーは表現しました。喜納昌吉さんが実況を見て受けた感動と、この言葉が時を経てこの名曲に結実したと言われています。4月17日、東京五輪競技の詳細スケジュールが発表されました。今回の五輪は「復興五輪」がテーマの1つであり、2020年7月22日に福島あづま球場で開催されるソフトボールで競技が開始されます。多くのアスリートが自分の夢や限界に挑戦する姿は、私たちに感動を与えてくれるとともに、競技や大会運営に関わる多くの人たちの存在は人と人との絆や関わり大切さを教えてくれます。様々なドラマはどのような形に昇華し結実するのか、今から大変ワクワクしています。